



レクリエーション活動

十月二十六日、京都の丹波にある「京都でてこいランド」で秋レクリエーションが開催された。絶好の秋晴れ！気温も秋らしく、すがすがしい気温に恵まれた。お昼にバーベキューパーティーをしたり、さつまいも堀りを行った。でてこいランドのある場所は自然たっぷりの静かな場所にあり、参加者もボランティアの方も多数おられ、おおいにはしゃぎ盛り上がるレクリエーションになった。

でてこいランドの施設は、トイレや建物の入り口などは完全なバリアフリーになっており、車椅子でも簡単に入ることが出来たし、トイレは個室がとて広いので、介助もしやすくなっており、使用しやすい施設だった。

今回の秋レクでは、参加者やボランティアの方が多数参加されていたので、たくさんのお会いや交流の場ともなり、楽しいレクリエーションだったように思う。

お知らせ

寒さが身体に感じるようになってまいりましたが、会員の皆様は、いかがお過ごしでしょうか？今年も、忘年会（クリスマス会）を、下記の要領で開催したいと考えて居ります。多くの方に参加してもらいたいと思います。出欠を12月7日までに、ゆうりんの家までお知らせ下さい。

記

- 1 日 時： 2003年12月14日（日） 午後2時～午後5時
- 2 場 所： パルスプラザ 2階レストラン
- 3 会 費： 3,500円
- 4 お迎えの必要な方は、車の都合がありますのでお早めに、お知らせ下さい。

以上

ゆうりんの家 通信

編集 NPO 法人 ゆうりんの家 第1号
 京都市伏見区深草西浦町7-67
 TEL (075) 641-1661
 FAX (075) 641-1665

障がいがあるからと言って
 むしろ 障がいがあるから
 そして 障がいのない人に
 出来ない部分は
 そして 対等になるべし !!

あまえるべからず !!
 強く生きるべし !!
 生きる 勇気を 与えよ !!
 サポート してもらおうべし !!



田 村 耕

ゆうりんの家通信の発刊にあたって

組合員数は30名を超え、専従者及び協力スタッフも20名近くになった当法人の日々の活動内容を、きめ細かく知って頂くことは難しくなりました。言い方を変えれば、それだけ組織が大きくなったと云えるのですが。

活動内容を皆さんに周知し、皆さんに参加して貰うことが、法人の望みでもあります。小さな一歩として、本通信を発刊しました。いろいろな情報や活動を発信し、また、今後は皆さんにも誌面にて登場いただく予定です。原則毎月一回コラムや従業員紹介など、法人と皆さんをつなぐ誌面作りを目指します。乞うご期待！！

「ゆうりんの家」ができるまで

「ゆうりんの家」を作るきっかけとなったのは、1997年12月、現理事長の田村耕さんが、京都肢体障害者友愛会のレクに参加し、その時に重度障害者の今措かれている立場を知り、なんとか改善しなければいけないと思ったからです。その後、障害者に関わる諸問題を勉強し、2000年3月に友輪友の会を作り、まず目の前の問題それは、車椅子障害者の移動手段の確保つまり介助者とリフト車 幸いにして在る所から、中古のリフト車を処分するとの情報を聞き、少し修繕すれば使えるとの事 さっそく交渉し無償で譲り受けたのがはじまりの第一歩です。NPO法人ゆうりんの家として、今年の12月で1年目になります。この1年を振り返り、当初 伏見区竹田に事務所を開設し、今年の4月からは日常生活用具給付事業の認可も取得出来、又6月からは、支援費制度をいち早く利用する為居宅支援事業の認可を受け、事業を開始する事が出来ました。さらには、10月1日より西浦町に新しく事務所を借り受け、旧事務所を自立支援ホームとして開設しました。これまでに要した費用すべて、理事長及び理事長を支援して下さる方々からの費用で賄ってきました。がこれからは、事業の発展による収益及び幅広い支援者の方々を募り、自立ホーム建設に向かって邁進して行く所存です。どうぞご支援 ご協力宜しくお願いします。



自立にむけて・・・

ゆうりんの家では、自立に向けた援助をしています。「自立したいけど、何か不安だし、自立の一步を踏み出せないの。」とお悩みの方が居ておられた場合、ゆうりんの家の『自立支援ホーム』で一泊二千元(会員価格)で、スタッフと共に宿泊し、食事の用意をする等、自立した時の様々な不安を解消出来るように、自立体験が出来ます。

そして、自立体験をした後「安心だし充実した自立生活が出来る」と自信が付いたら在宅サービスを提供していきます。住まい探しから手摺やスロープの取り付けなど、本人に適した住まいで尚且つ、充実したケアのなか生き甲斐のある自立生活を送ってもらえるよう支援活動を行っております。

外出したいの

だが…!?

ゆうりんの家では、病院への送り迎えや、旅行・レジャーのお伴などにもリフト付き車輛で支援活動を行っております。現在 K老健施設の移送や、障がい者入所施設の移送など行っております。一人ではなかなか外出できない方も、ゆうりんの家のスタッフがサポートします。



空き缶つぶしやフリーマーケットで・・・

ゆうりんの家では、障がい児・者の方も出来ることはお互いに助け合い、様々な作業をして収入を得ています。

地域の方が、協力して集めてくださった空き缶を、プルタブを外し、量を低くするために潰す作業を、毎週日曜日に行っています。その空き缶を業者に引き取ってもらっています。

そして今までに(11月9日現在) 金37,797円の収益が得られました。作業の時に困るのは缶の中にタバコの吸殻やゴミが混じっていたり、飲み残しがあったり、スチールやピンが混じっていたりする事です。作業はプルタブ取りと潰す作業を二人で手分けしてやっています。作業は大変ですが、冗談を言い合ったりして楽しく作業をしています。

他の収入として、京都市内で開かれる、年に数回はフリーマーケットにも参加をしています。この商品などはご支援を貰っている方々からご提供いただいています。障がい児・者の方々と共に協力をしてお店を出すことも、外部と接触する意味で貴重な社会体験学習にもなります。

前回のフリマ(9月20・21日)で、3万円強の収益が得られました